

令和 6 年 6 月 3 日

長野県知事 様

令和 6 年度長野県産業廃棄物 3 R 実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画書を提出します。

協定期間	令和5年(2023年)4月1日から令和8年(2026年)3月31日まで	
会社名	株式会社 倉田工務店	
住所	〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂 6 0 7 3 番地	
代表者名	代表取締役 倉田 秀紀	
業種	製造業 ・ 建設業	
処理施設 所在地 (処理施設を有する場合)	施設名	所在地
担当部署	総務部	
担当者名	林 且仁	
連絡先	TEL	0265-83-7134
	FAX	0265-83-0236
	電子メールアドレス	kurataco@cek.ne.jp
ホームページアドレス	http://www.kurataco.co.jp	

1 産業廃棄物 3 R 実践方針

二つのアルプスを望む駒ヶ根市で、総合建設業を営むわが社は、この素晴らしい環境を次世代に残すために、環境に配慮した業務運営を積極的に推進します。その一環として、産業廃棄物の適正処理・3 R 実践にも、積極的に取り組みます。本年度も、リサイクル推進とリサイクル品活用を推進します。

2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

	R 6 年度 目標値	R 5 年度 実績値	R 4 年度 実績値	R 3 年度 実績値
総排出量の推移 (t) kg・m ³)	850,000 t	873.438 t	750.628 t	626.084 t
リサイクル量の推移 (t) kg・m ³)	680,000 t	682.870 t	651.960 t	331.540 t
売上高の推移 (円)	864,000,000	811,973,097	729,856,743	620,964,285

3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

受注する工事内容により、発生する産業廃棄物の種類・発生量が大きく影響を受けることは、避けられません。

業務の選好みは、できませんので、計画とおりの数字を確保することが、難しい面があることは、否定できません。

しかし、基本的な考え方を以下として、排出抑制・リサイクル推進をしていきます。

1. 従業員教育により、産業廃棄物の排出削減・分別処理の徹底を実施。
2. プレカット材の利用により、現場での端材発生の抑止をする。
3. 設計段階の材料選定は、リサイクル品使用を高める。
4. 発生した端材については、できるだけ再利用化を進める。
5. 産業廃棄物処理は、現場に近い業者を選定して、移動による二酸化炭素の排出抑制に努める。
6. 処理委託する業者の選定に当たっては、資格のある信用できる業者を選ぶ。
7. 日常活動においては、不要時消灯、裏紙利用によるコピー用紙使用量削減、廃棄物の分別処理の徹底等を継続し、環境影響の低減をしていきます。
8. 小規模焼却炉で、焼却処理するものは、できるだけ焼却して、外部排出を少なくするようにします。

以下の観点も参考としていただいで構いません。（必要に応じ写真等を添付してください。）

- ・産業廃棄物処理責任者等
- ・産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
- ・産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明（処理施設を有する場合）
- ・処理を委託する処理業者（施設）の現地確認計画
- ・従業員教育（研修）計画
- ・リサイクル促進に向けた取組（計画段階、実施段階での工夫など）
- ・処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
- ・不適正処理を発見した場合の協力体制
- ・自社処理廃棄物の管理方法（自社処理を行っている場合）
- ・独自に取り組む事項

代替素材への転換（化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと）、環境認証制度等の取得（環境 ISO 14001、エコアクション 21 等）、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等。

4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

製品（材料）種別	当年度目標値	過年度実績値		
	R 6 年度 目標値	R 5 年度 実績値	R 4 年度 実績値	R 3 年度 実績値
砕石	65%	60%	60%	60%
タイル	65%	65%	65%	65%
インターロッキング	70%	70%	70%	70%
パーティクルボード	75%	75%	75%	75%
埋戻し材	75%	75%	75%	75%
全体	70%	69%	69%	69%